

保護者や地域の皆さんの
協力で

子どもたちの安全を守ろう

昨年、広島県や栃木県で小学生が下校途中に殺害されるという、大変痛ましい事件が発生しました。これをきっかけに市や学校、そして地域で、児童・生徒の安全確保のために、いろいろな取り組みが始まっています。今号ではその概要についてお知らせします。

1 学校情報配信システム

旧成田地域では1月から、下総・大栄地域ではこの4月から、公立の全小・中学校で学校情報配信システムを導入しました。このシステムは学校ごとに登録をした保護者や関係者に不審者などの情報をメールで配信するシステムです。まだ未登録の方はぜひ登録をお願いします。



2 スクールガード・リーダーの派遣

地域ぐるみの学校安全体制を確立させるため、防犯の専門家であるスクールガード・リーダー（地域学校安全指導委員）の派遣を行います。平成18年度は各小学校に年3回の派遣を予定し、主に次のような活動をします。

1. 学校区全体・通学路・危険箇所の点検および指摘
2. 防犯ボランティアの養成・指導
3. 不審者対応避難訓練および指導
4. 学校安全にかかわる校内研修

3 「子ども110番の家」を設置



市PTA連絡協議会・市教育委員会・警察署では「子ども110番の家」の設置を推進しています。危険を感じ、助けを求めてきた子どもを緊急避難先として保護し、警察などに連絡を行う民間協力の拠点です。現在、市内全域で約2,000の家庭や商店に協力をいただいています。「子ども110番の家」のプレートは、道路に面した目に付きやすい場所に掲示していますので、親子で確認しておきましょう。

5 防犯ブザー

公立の全小学生と中学生女子に防犯ブザーを貸与しています。希望者は各学校に申し出てください。



子どもの安全について
くわしくは とと
は教育指導課(☎20-
1582)、は生涯学習課
(☎20-1583)、は交通
防犯課(☎20-1527)へ。



4 地域の安全は地域で守る

成田市防犯パトロール隊や各自治会・町内会でJR成田駅西口に成田市防犯巡回指導員事務所を設置し、防犯指導員・教員・PTA・一般公募の市民で組織する成田市防犯巡回指導員が、月～金曜日・1日3回、市内のパトロールを行っています。

また、各地域の自治会・町内会・老人クラブなどでは、「子どもたちが安心して通学し、楽しく遊べる環境づくりをできるところから始めよう」と、巡回パトロール、声掛け、通学路や登下校時の学校の正門前での交通指導、違法駐車追放運動など、地域で力を合わせて子どもの安全に取り組んでいます。

成田ニュータウン
地区で「子どもを
地域で守ろう会」
が発足



防犯パトロール
隊や地域のボラ
ンティアが協力
し子どもたちを
守っています